

## 海外調査 情報技術班(アメリカ)

柿崎良太(21911096rk@tama.ac.jp)

桑原悠(21911139yk@tama.ac.jp)

杉立汐里 (21911197ss@tama.ac.jp)

染谷直希(21911209ns@tama.ac.jp)

### 目次

- I. ICT×教育
- II. IoTについて
- III. デジタル技術×観光
- IV. まとめ
- V. 参考文献

### 背景と目的

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、IT技術などを使った様々なサービスが生まれた。今回は「ICT×教育」「IoTについて」「デジタル技術×観光」に分け、日本とアメリカの比較をしながら、アメリカに対する投資価値を本研究を通じて検証していく。

### 内容

#### ICT×教育

2016年に教育分野に対し大規模な投資を実施したことにより以降アメリカでは教育分野で情報技術を活用する地域やサービスが拡大している。本研究を通して情報技術を活用した事例や新型コロナウイルス感染拡大に伴う各自治体の動向までまとめる。

#### IoT

まずはIoTとはどういったものか。そこからアメリカのIoTへの取り組みを見ていき、導入率などを日本と比較。

その結果からアメリカのIoTが進み、日本のIoTが遅れている原因を探していく。

#### デジタル技術×観光

観光業界全体がコロナで大きく打撃を受けている今、「スマートリゾート」というデジタル技術を使ったサービスにより、

- ① 地域への誘客拡大
  - ② 滞在長期化
  - ③ 消費推進
  - ④ 持続的な価値の獲得・創出
- を目指す取り組みが行われている。

### 結論

#### ICT×教育

アメリカのICT分野はトップクラスである。

コロナ禍でさらなる需要が出るのでは

#### IoT

日本と比較してもIoTの導入率は高いIoTの需要は今後も拡大

#### IT×観光

「観光」という面ではそこまで大きな差があるわけではない。

コロナ後の観光業界はいち早く「スマートリゾート」に力を入れた国及び地域自治体から復活していくのではないか。